

平成24年(2012年)10月6日 土曜日

くまもと環境賞に7団体

実生の森実行委(水俣市)など表彰

県の第21回「くまもと環境賞」の表彰式が5日、県庁であり、水俣湾埋め立て地で17年間、森づくりに取り組んできた水俣市の実生の森実行委員会(金刺潤平委員長)など7団体に、蒲島郁夫知事が県産間伐材で作った表彰状を贈った。

考。実生の森実行委は自然共生賞。自薦、他薦含めて28個人・団体から県環境審議会が審査した。(亀井宏二)

前回新設した奨励賞など他の受賞者は次の通り。

部門賞▽循環型社会賞 阿蘇の草資源の活用を推進する阿蘇市の九州バイオマスフォーラム(栉田聖孝理事長)▽ストップ温暖化賞

エコハウスの普及に取り組む熊本市南区のエコワークス熊本支店(小山貴史社長)▽環境教育賞 ホタルの生息環境の保全を進める益城町の飯野小(竹田泰司校長)▽水の国賞

八代海の再生を目指し活動する八代市のやつしろ里海ネット(上久保祐志代表)

本市東区のしらさぎ(沼田百合子理事長)▽節電のためゴーヤー栽培の普及に取り組む

今回から衣替えし、循環型社会、ストップ温暖化など5部門で選

奨励賞▽熊本城の石垣除草などを続ける熊



蒲島知事(左)から表彰状を受け取る実生の森実行委員会の金刺委員長=5日、県庁

菊陽町のグリーン(ゴーヤー)カーテン菊陽(紫藤英一代表)